

Meraki MXコンテンツフィルタリングとUmbrella間の非互換性問題のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[根本原因](#)

[別の原因](#)

[例：Policy-Debug](#)

[例：インテリジェントプロキシ](#)

[例：ブロックページ](#)

はじめに

このドキュメントでは、Meraki MXコンテンツフィルタリングとUmbrella間の非互換性の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

問題

Cisco Talos搭載の[Meraki MXコンテンツフィルタリング](#)を使用すると、一部のUmbrella DNSフィルタリング機能の不整合に直面する可能性があります。

- ブロックページが正しくありません（カスタムブロックページが適用されていません）
- ブロックページバイパス機能が表示されない
- インテリジェントプロキシを使用しているサイトの「401 Unauthorized」エラー
- [Policy-Debug](#)テストで不正なOrg/Origin ID/BundleIDが表示される

解決方法

Merakiダッシュボードの「許可されるURL」リストを使用して、Meraki MXコンテンツフィルタリング機能からこのドメインを除外します。

id.opendns.com

コンテンツフィルタリングは、Merakiダッシュボードの次の場所で設定します。

- Security & SD-WAN > Content Filtering (Global settings)内
- ネットワーク全体>グループポリシー (ユーザまたはSSIDに割り当て可能なポリシー)

Content Filtering

Content filtering set here becomes a default. Deliberately allowing content access or matching [Active Directory](#) group policy supersedes

Check content and threat categories

Find out what content and threat categories that a URL has.

Type in the URL

Category blocking

Block URLs by website and threat category. See the [full category list](#).

☒ Block

Content categories

Threat categories

URL filtering

Enter specific URLs to block or allow. You can use **Category blocking** to block a large number of sites by category rather than entering a

☒ Block

Blocked URL list
Targets specific URLs to block

☒ Allow

Allowed URL list

Content Filtering is Enabled

Exclude "id.opendns.com"

21399526244628

または、Merakiコンテンツフィルタリングを完全に無効にして (すべてのカテゴリブロックを削除して)、Umbrellaフィルタリングのみを使用します。

根本原因

Cisco Umbrellaでは、トラフィックがブロックページのランダー、インテリジェントプロキシ、またはポリシーデバッグサイトに最初に到達したときに、グローバルに一意的リダイレクトであるhttp://*.id.opendns.comを使用します。このリダイレクトは、グローバルに一意的DNSルックアップを生成するために必要です。この一意のDNSにより、トラフィックをDNSレイヤで認証し、正しいユーザ、デバイス、ネットワークIDを決定できます。

[Meraki MXコンテンツフィルタリング](#)は、独自のレピュテーションチェックを実行します。http://*.id.opendns.comにアクセスすると、Meraki MXコンテンツフィルタリングは同じドメインに対して重複DNSルックアップを生成する可能性があり、これによりこの認証プロセスが中断さ

れます。そのため、Cisco Umbrellaは正しいユーザ、デバイス、ネットワークIDを判別できません。

この問題が発生しても、Cisco Umbrellaでコンテンツ/セキュリティブロックが適用されるのを妨げることはなく、正しいブロックページのテキスト、ロゴ、カスタマイズが表示されることはありません。

別の原因

この動作は、オンプレミスのHTTP WebプロキシまたはWebフィルタでも発生する可能性があります。HTTPプロキシでUmbrella DNSを使用するには、必須の設定手順が必要です。

例：Policy-Debug

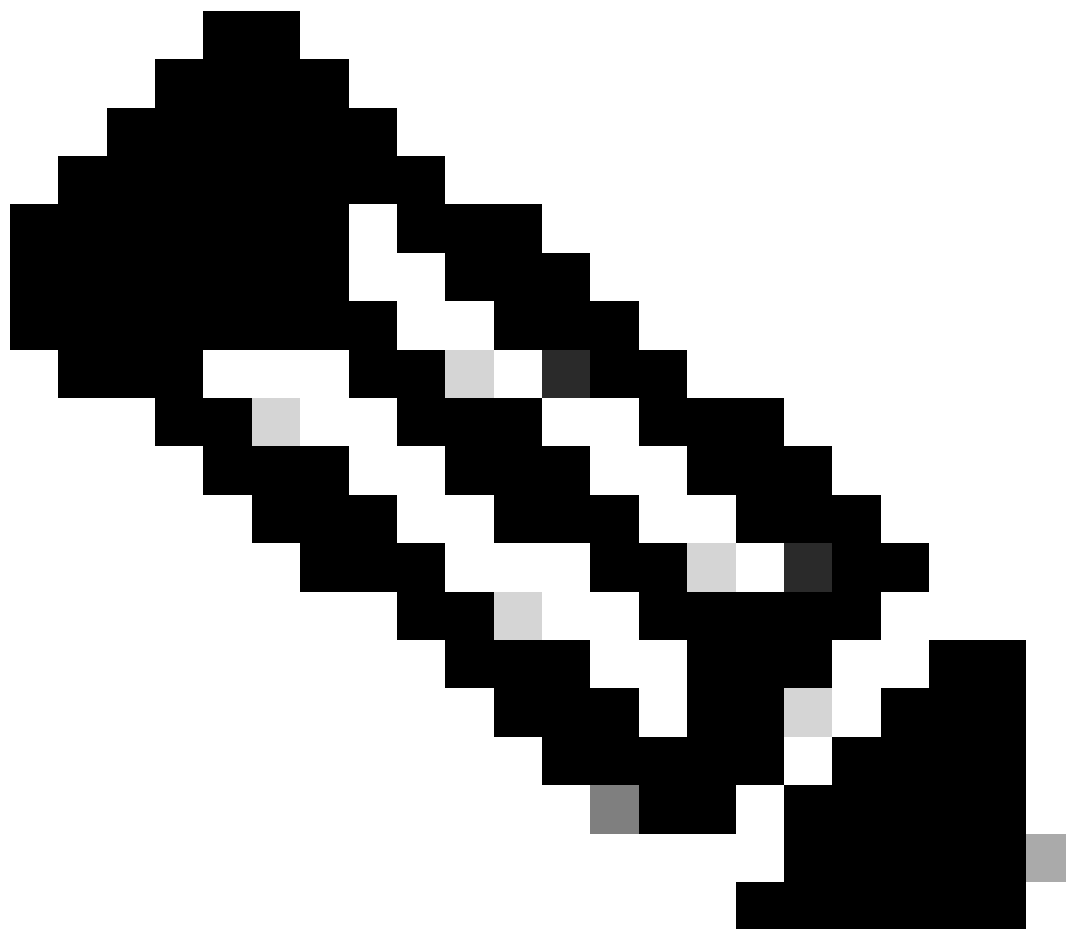
この問題のインジケータは、<https://policy-debug.checkumbrella.com/>の情報に誤った組織IDが示されている場合です。IDは、'0'、'2'、または予期される組織に関連付けられていないIDとして表示できます。

<#root>

```
[GENERAL]
Org ID: 0. <<<<. Incorrect Org ID
Bundle ID: XXXX
Origin ID: XXXX
Other origins:
Host: policy-debug.checkumbrella.com
Internal IP: x.x.x.x
Time: Fri, 29 Sep 2023 16:16:22.182335 UTC
```

例：インテリジェントプロキシ

この問題のインジケータは、顧客にインテリジェントプロキシのライセンスが付与されている場合でも、一部のサイト(<http://proxy.opendnstest.com>を含む)でiproxyサーバが予期しない「401」を返す場合です。サーバからエラーが返されます。



注：インテリジェントプロキシは、「灰色」または疑わしいレピュテーションが存在する一部のサイトでのみ使用されるため、特定の状況でのみ問題が発生します。

例：ブロックページ

この問題のインジケータは、ブロックページに組織固有のカスタマイズが表示されないことです。ブロックページは引き続き表示されますが、カスタムロゴ/テキストの代わりにデフォルトの「Cisco Umbrella」ブランドが含まれています。ブロックページバイパスユーザー/コードが見つかりません。



This site is blocked.

www.888.com

> [Administrative Bypass](#)

Sorry, www.888.com has been blocked by your network administrator.

> [Report an incorrect block](#)

> [Diagnostic Info](#)

[Terms](#) | [Privacy Policy](#) | [Contact](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。